

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.1 3

開催地：多良木町多良木9区の1・2

平成19年6月20日(水)、多良木町多良木9区の1・2において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

多良木町牛島公民館にて開催された同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

町内	24名
町外	1名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p><b>【河川整備基本方針の説明について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人吉の中川原公園を撤去すれば7,000 m<sup>3</sup>/sはスムーズに流れるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮に、中川原公園を撤去したとしても、中川原公園の下流区間の川幅が狭いことから、ここが洪水流下のネックとなってしまいます。 また、中川原公園は、イベントやお祭り等で利用されており、人吉市民にとって大切な憩いの空間となっているものと認識しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1/80というのは具体的に降雨でいうと何百mmなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針における80年に1回の確率で発生する降雨量は、降り続けている状態の雨のうち一番強く降っている12時間の雨量が人吉地点上流域平均で262mm程度と考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本高水流量と計画高水流量との差の3,000 m<sup>3</sup>/sについて、国は五木村の説明会などではダムが最適だろうと言っている。対策はダムしかないということをきちんと説明すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を作成する際に検討していくこととなります。</li> </ul>
<p><b>【球磨川の治水対策について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林業が機械化され林道を造るようになったことについて、どう考えているのか。山を削って林道を造るよりも、昔のようにワイヤーを張って搬出した方がよいのではないか。国交省と林野庁がお互いに研究し合って洪水の対策などをすればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、球磨川では大雨により大規模な山腹崩壊が発生していますが、その要因の一つとしてご指摘のようなことがあるのかもしれませんが、山腹崩壊に伴う河川内への土砂流出による濁水の長期化が見られることから、林野庁等関係機関とも連携しつつ取り組みを推進していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>河川敷内に竹藪や葦がたくさん生えている。これらを撤去すればもう少し水がよく流れるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告会后、ご発言された方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後どのような対応が出来るのか検討したいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂を取ってもまた同じ場所に土砂がたまってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見のとおり、土砂の除去については、これまでの河道変化の状況も踏まえながら、できるだけ手戻りのないよう土砂除去の範囲や時期等を適切に判断する必要があると考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市房ダムの土砂堆積について、想定と比べて現在どれ位貯まっているのか。また、ダムの寿命はあとどれ位か。</li> </ul>	<p><b>【熊本県回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画では100年の堆砂量を備えております。市房ダムが完成し、50年近くになりますが、現在、計画堆砂容量の約7割が堆積しております。今後、土砂の貯まり方を注視しながら、対応を</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・王宮神社の側の橋に下流 200 m にわたった土砂が貯まり高敷になっている。どうにかしてもらえないか。この辺りは川の中の半分程度しか水が流れない状態となっており、数年前それが影響で避難したことがある。</li> </ul>	<p>討していきます。また、ダム上流に設けた貯砂ダムにより堆砂容量の寿命を延ばしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会后に発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後、堆積箇所の調査を行い、土砂撤去の必要性について検討していきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中鶴橋と王宮橋の間は、昔は護岸工も脆弱で水はねみたいなものを造ってあり、それにより河川の中心に流心が向くようになっていたが、護岸が出来てそれが無くなってからはこの地区の方に川の流れが寄るようになってしまっている。この辺りの形態を変えてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の貴重なお話をありがとうございます。いただいたご意見は、今後策定する河川整備計画の検討の参考とさせていただきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の取水堰を取り壊した際の殻が川の中に残っているので取り除いて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地を確認させていただき、必要に応じて撤去していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年位前の水害時にこの下鶴地区の人達は町民体育館に避難したことがあった。その時は、あと2時間ぐらい雨が降り続いたら市房ダムから水が溢れるという心配があった。市房ダムが溢れたらこの地区はどうなるのか。</li> </ul>	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この件については、県からは回答の機会が当日ございませんでしたので、以下のとおり回答します。 平成 17 年 9 月台風 14 号では、球磨川の各水位局で警戒水位を超え、人吉市などで避難勧告が出されました。 市房ダムは 9 月 5 日の午後 7 時頃から洪水調節を開始し、6 日の午前 8 時 30 分頃にダムへの流入量が最大となりました。このうちの一部をダムに貯留し、下流の更なる水位上昇の防止に寄与しております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムを前提に河川整備をするとダムのカット量を見込むため、下流の治水対策がおろそかになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針では、まず、河道でできるだけ多くの流量を安全に流すことを念頭に、自然的、社会的制約を考慮し、どこまで河川改修によって河川で安全に流しうるかを検討した上で、計画高水流量を決定しています。これが基本高水のピーク流量よりも小さい場合、その差分についてダムや遊水地等による洪水調節で対応することになります。 具体の洪水調節施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムから水が溢れたときに堤防決壊に至らないために、上流で遊水地等の対策はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊水地などの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなるため、いただいたご意見は、検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人吉が水害にあったときは市房ダムの放流が原因だった。</li> </ul>	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 40 年 7 月の洪水では、雨の降り始めから 7 月 2 日 23 時までに入ってくる水をダムに貯めておりません。その後、ダムに入ってくる水の量が増えたため、少しずつダムに水を貯め、球磨川を流れる水の量を減らしました。そして、ダムに入ってくる水の量が最も多くなった 7 月 3 日 3 時頃 862m<sup>3</sup>/s の最大流量がありましたが、ダム操作により 341m<sup>3</sup>/s の洪水調節を行い、521m<sup>3</sup>/s を放流しています。</li> </ul>
<p>【球磨川の環境について】</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>里ノ城大橋の上流は昔は大変きれいなところだった。今も子供達が川で遊んでいるが、そこに行く途中に竹藪が繁茂している。国交省としてそのまま放置するのか。親水公園にするような計画はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告会の後、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。河川管理者が行う堤防の除草は、堤防に亀裂などの異常がないか確認することを目的に実施しており、予算上の制約もあるため、ご要望に十分対応できないこともあります。河川敷の利活用の状況も踏まえ、地元自治体等関係機関と連携をとりながら対応を検討していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の球磨川には、今のものとは構造が違うが所々堰があった。堰があったときは、葦原が中心に茂っているようなことはなかった。牛島にも堰があったが、それが無くなったことで地形が変わった。堰を造ることは環境的にも良いことではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の河川の中では、環境豊かな昔の河川を取り戻すための試みが行われていますが、球磨川についても工夫できないか、現地の状況に応じて検討していきたいと考えています。いただいたご意見は、今後策定する河川整備計画検討の際の参考にさせていただきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年の水質悪化の原因は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の台風等による豪雨により山腹崩壊が発生して、大量の土砂が河川内に流入し、川の濁りが発生しています。平成18年の夏の終わり頃まで濁りがひどい状態が続いた主な原因は、この山腹崩壊によるものと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年の球磨川の濁りの長期化は、市房ダムがダム湖の上の方からでなく濁りの多い下の方から放流したことで、中の汚泥が一緒に流れたことが原因だと聞いたが、実態はどうなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【熊本県回答】</li> <li>ダム湖の表層に近いところの濁度が低いため、平成18年度からは、表層に近いところから取水する温水取水塔を活用して放流する濁水対策を試験的に行っています。今後は成果を検証しながら、恒久的な対策を検討しているところです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>球磨川は昔はメダカやドジョウがたくさんいる本当にきれいな川だった。S30年代にダムが出来るまでは瀬が腰くらいまでの深さあったが、今では少ないときは膝下位までであり、長靴を履いて渡れる程度しかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の河川の中では、環境豊かな昔の河川を取り戻すための試みが行われていますが、球磨川についても工夫できないか、現地の状況に応じて検討していきたいと考えています。いただいたご意見は、今後策定する河川整備計画検討の際の参考にさせていただきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダムのせいだとは言わないが、山の伐採などで水にも栄養がなくなり、メダカ・ドジョウ・ウナギがいなくなったのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの河川改修により、洪水に対する安全性は向上しているものの、一方で、魚類などの生物の生息場が失われてしまった場所もあると思います。今後の河川整備にあたっては、治水・利水・環境に関わる取り組みを総合的に展開していくべきと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>灌漑用水路にはダムのおかげで年中水がくるが、本来の川には水が無い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>また、ご意見にある山林の荒廃について、国土交通省としても関係機関と連携して、森林の保全に努めていきたいと考えています。</li> <li>球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と河川環境の調和のために知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>この辺りにあるのはツクシイバラではなくシロバラである。ツクシイバラだと思って除草の時にあえて残したのかもしれないが、取った方がよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、除草にあたっては、ご指摘を踏まえて対応していきたいと考えています。</li> </ul>

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。